

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月8日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500203
法人名	アルゴーライン 株式会社
事業所名	ケアホーム 田海園
所在地	鹿児島県薩摩川内市城上町9750番地7 (電話) 0996-21-9338
自己評価作成日	平成29年3月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月24日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様一人一人の性格や予想できる行動等を全職員は把握し、安心できると考えられる環境づくりや支援に取り組んでいます。  
ご家族様の面会時には日頃の様子などを伝え、遠方のご家族様には電話などでお伝えし、時には本人様とも話していただくなどしてお互いに安心できるように心がけています。  
利用者様の体調不良時や普段と違う状態の場合は利用者様それぞれの主治医に連絡・相談し、必要時には往診、専門の病院受診など病気の早期発見を心がけています。  
季節行事のそうめん流しやドライブに出かけたり、気候の良い時期には施設周辺の散歩に出かけることもでき、のんびりした環境で過ごせます。  
「つなぐ・つながる・たすけあう」を理念とし、地域の皆様から愛される施設を目指していきます。

- ・当事業所は2ユニットのグループホームである。企業母体は居宅介護支援事業所や訪問介護事業所・デイサービス等を運営し、地域の高齢者福祉の一端を担っている。
- ・利用者とのつながり、家族とのつながり、地域とのつながりを大事に家族的な雰囲気ですすけあいながら安心して過ごせるよう支援している。
- ・排泄チェック表を活用し排泄パターンの把握によりトイレでの排泄を基本に支援している。日中は全員が布パンツで過ごしている。入居後に改善された事例がある。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを大切に、日頃の声かけや年間目標の自己評価後の面談、必要時には個人的に懇談を行い、利用者に合わせて休憩時間の変更、勤務時間の調整など話し合い、働きやすい環境づくりに努めている。
- ・利用者の思いを大切に利用者本位のケアを心がけ、状況報告や緊急時の対応など家族との連携を密に行い、安心感・信頼感につながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念である「つなぐ・つながる・たすけあう」を管理者と職員は共有し地域の皆様から愛される施設を目指している。	理念は、事業所内の目に付きやすいホールや玄関に掲げ、ミーティングや職員会議で振り返り、理念に沿ったケアを実践している。入居時に理念の説明もしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	在宅時からの知人の面会等は積極的に受け入れている。今後は近隣地域の民生委員や高齢者団体の方々との交流を目指していく。	中学生の職場体験学習やサマーボランティアの受け入れ、地域老人クラブの慰問や散歩時のあいさつや声かけ、地域の店での買い物等、日常的に交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	社協開催のボランティア体験や中学生の職場体験の受け入れも継続しており、認知症があっても安心して暮らせることを理解していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>施設の方針や利用者様の毎日の過ごし方などを報告、外出へのアドバイス(花の開花状況等)を受けたり、違う方向から見た対応方法などを聞くなどして、サービス向上に取り組んでいる。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に開催し、利用者の状況・活動報告、事故・ヒヤリハット報告、外部評価の結果報告等が行われ、参加者から地域の状況や行政からの情報提供があり、非常ベルの扱い等の意見や花の開花情報もあり園外活動やサービスに反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>介護保険や事業所の実情等について相談しながら解決に向けて取り組んでいる。</p>	<p>市担当者とは書類更新や相談事で出かけたり電話で連携をとっている。生活保護課には、ケアプランを持参したり、訪問もある。行政主催の研修会には積極的に参加している。運営推進会議に参加してもらい相談をする等、日頃から協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の弊害について代表者及び全ての職員は理解している。日中は施錠せず、外に出そうな利用者様には職員が付き添うなどして落ち着いていただいている。</p>	<p>指針・マニュアルがあり定期的な勉強会や研修を通して、拘束の具体的な行為など、その都度話し合って理解と意識の統一を図っている。言葉の拘束も含めて、身体拘束廃止宣言をしている。日中の玄関施錠はせずに、必要時には声かけの工夫やドライブなど気分転換を図り対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員会議時の勉強会では、資料に沿って虐待について学ぶ機会を持ち、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関する研修案内があれば出席して学びたいが、案内も少なく活用する機会がない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用開始時に重要事項説明書や利用契約書について説明する時間をとり、利用者や家族の疑問に返答するなどして理解・納得をいただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に《苦情受付箱》を設置しており、面会時や電話をかけた際にも意見・要望などを聞き、改善に取り組んでいる。</p>	<p>利用者からは日常会話の中からの表情・しぐさから思いを把握している。家族からは毎月の状況報告時や面会時・介護計画見直し時に、意見や要望を聞くよう心がけている。出された意見や要望は申し送りノートで共有しケアに反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月開催する職員会議やその他の機会に代表者への要望を聞く機会を設け、運営に反映させている。</p>	<p>毎朝の申し送り時や毎月の職員会議において意見や提案等を聞いている。管理者は年間目標に対する自己評価後の個人面談や必要時には個人的にコミュニケーションを図っている。利用者に合わせ休憩時間の変更や入浴時の2人介助等の意見を運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の努力や実績等を把握し、給料等に反映させている。喫煙所や冷暖房完備の休憩室を設け、一息つける環境づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>一人ひとりのケアの実際と力量に合った研修の案内、参加を促している。勤務につきながら資格取得支援も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>機会は少ないが、研修会等に参加した際に同業者との交流がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前には入院先や自宅で面会し、本人様や家族より日頃の様子等を聞いたり、疑問点について答えるなどして安心確保するための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	在宅時の様子や家族の不安・希望等に耳を傾けながら、園での生活に安心感を持っていただけるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前の相談やアセスメント等で心配事や希望等を聞き、家族や本人の意向に沿うように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様は人生の先輩である、との考えを職員は持っており、得意なことや生活の知恵などを教えていただくことで職員も学び支えあう関係を築いている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員はご家族様の想いを受け止め、日々の生活の中での出来事や気づいたことなどを共有することで、共に本人様を支えていく関係を築くようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの方の面会時には又来て下さるよう話し、行きつけの病院受診など、今までの関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	<p>入居時のアセスメントや家族に情報を聞いたり、日常の会話の中から把握している。面会時にはお茶を出してゆっくりしてもらっている。年賀状や暑中見舞状作成の介助もしている。かかりつけ医への受診や電話の取次ぎ等を心がけている。家族の協力を得ながら外出の支援など馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>耳の遠い方の隣に座って顔を見ながら話すなど個別に話を聴いたり、みんなで楽しく過ごす時間や利用者様同士で話す機会を作るなど、職員が調整役となって支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院先への面会や家族の電話などでの相談等にも応じている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の生活や日頃の動き等を把握し、意向に近いものになるよう努めている。意思疎通が困難な方には、日々の関わりの中で把握するよう努めている。	入居時のアセスメントや家族からの情報、日常会話や表情・しぐさから、思いや意向の把握に努めている。夜勤・入浴時に話がはずむことがある。申し送りノートや職員会議の時にも情報を把握している。意思疎通の困難な利用者には、日々の関わりの中からや家族からの情報を聞き本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や知人の面会時に話を聞くなどしてわかる範囲内でこれまでの暮らし方の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段の生活パターンや前日の様子・夜間の状況などを把握することで、その日の体調やできそうなことなども把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族や主治医の意見を聞き、職員からの随時の情報収集などして介護計画を作成している。毎月のモニタリング、6ヶ月毎のアセスメントで計画の見直しをしているが、状態変化があった場合は随時計画の見直しをしている。	本人や家族から意向や意見を聞き、職員からは職員会議や日々の状況から把握して、主治医の意見も入れて介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い見直しは6ヶ月毎に実施している。状況に応じて現状に即した計画をたてている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子等を個々の記録に残している。普段と違った言動等があれば記録・連絡ノートにも記載して職員間で情報共有、必要時には主治医へ相談するなどして、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>遠方に居住する家族様、その時点で都合の悪い家族様へは状況に応じて、必要であれば病院受診同行なども支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>学校の職場体験や社協・個人のボランティア受け入れ等により、違う雰囲気を楽しむことができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医受診を支援している。病状によっては家族・主治医と連携して病状に合った医療機関受診を支援している。本人・家族の状況によっては受診同行にも対応し、結果を家族に報告している。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医である。3ヶ所の医療機関から月2回程度の往診がある。歯科も往診で対応している。他科受診は家族や職員が同行している。受診結果は家族に電話で報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>普段の状況を把握することで、病気の早期発見に努めている。把握した状態を主治医に報告・相談、必要時は夜中でも往診を受けることができる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には本人に関する情報を医療機関に提供している。入院中の面会や病院相談員との情報交換、家族との連絡などで退院支援に結び付けている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合などについては入居時に説明している。重度化が予測される場合は早い段階で主治医から家族へ説明してもらい、家族とも話し合いながら事業所としてできる限りのことを支援している。</p>	<p>事業所として医療が主になった場合は困難である旨、入居時に説明している。本人や家族の意向を聞き、主治医と話し合いを持ち、早めの対応を心がけ、事業所としてできるだけ支援を行っている。指針・マニュアルについては計画中である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生について資料を用いて職員会議時に勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防局へ依頼し、利用者参加の消防訓練を実地している。地域への呼びかけはまだ十分ではない。</p>	<p>消防避難訓練を年2回実施しマニュアルを基に、1回は消防署の指導のもとで行っている。避難経路・避難誘導・避難場所の点検や確認をしている。1回は自主訓練である。緊急連絡網がある。地域の協力体制づくりは今後の課題である。災害時の水やレトルト食品等を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の性格を理解し、プライバシーや尊厳を損ねないよう配慮しながら声かけや対応を行っている。	研修や勉強会・会議等でマニュアルを基に、人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけ等の研鑽を行っている。排泄や入浴支援・声かけの対応等、支援に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の想いを伝える事ができる方はその方の想いを尊重し、そうでない方は本人の顔を見て表情等を確認しながら、本人が自分で決めることができるような声かけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調や気分に合わせて過ごせるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	園行事や家族との外出時は、職員と一緒に楽しみながら衣類等を選べるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備で使う野菜を育てて利用者と一緒に収穫するなどして楽しみを持っていただいている。元気な利用者もいるが、調理を一緒に行うことには難色を示されるため片付けをしていただいている。	入居時の嗜好調査やアセスメントから食事形態や代替え食など工夫している。個々の力量に応じて台拭きや下膳の手伝い・菜園での野菜栽培や収穫など一緒に行っている。季節の行事食や誕生会のケーキ・ソーメン流し等の外食等、食事が楽しみになるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は一人ひとりの食べる量を把握しており、食べ方に変化がないかを確認している。数名は夜間にも自力で水分摂取できるよう毎晩ストロー付きのコップを置いて飲んでいただいている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力で歯磨きできる方にはその方に応じた声かけで、介助が必要な方にはコップやうがい受けなどを準備し、一つ一つ声かけしながら口腔内が清潔に保てるようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用することで個々のパターンを把握、タイミングを合わせた排泄声かけや介助をすることでオムツ類に頼らずトイレで排泄できるよう支援している。	排泄チェック表を活用し時間やタイミングをみての声かけ誘導で日中は全員、トイレでの排泄を支援している。パットの種類も個々に合わせて選んでいる。夜間は状態に応じておむつやポータブルトイレを使用している。日中はおむつからリハビリパンツやパット・布パンツに改善された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	処方されている緩下剤の内容を理解し水分を多く摂るようすすめたり、歩行困難な利用者様にはなるべく自分の足で力強く立っていただけるような介助をするなどして自然な排便があるよう工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	15時半頃より夕方にかけて毎日入浴準備をしており、その日の気分に応じて入浴していただいている。	基本的に午後に週3回、必要に応じて毎日入浴可能な体制となっている。ゆず湯や保湿剤の使用、脱衣室の温度差にも気配り支援し入浴を楽しんでいる。拒否のある利用者には声かけやタイミングの工夫、必要に応じて清拭や足浴対応を行っている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりお好きな場所でくつろいでいただいている。日中は居室で休む方もいらっしゃるが、閉じこもりにはなっていない。夜間は安眠を妨げることなく安心して休んでいただいている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や量の変更を全員で共有し、状態観察した結果は医師へ報告・相談している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の性格等を把握して、できる作業をお願いしている。そうめん流しや花見など出かける楽しみも味わっていただいている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には介助を要する利用者様も外へ出ていただいている。外出希望があれば、家族と連絡をとりお好きな場所へ外出できるよう支援している。</p>	<p>日常的には天気の良い日は、戸外の散歩やユニット間を移動したり、近くのスーパーマーケットへの買い物・ドライブ等へ出かけている。年間行事で桜や菜の花・彼岸花の花見やソーメン流し等を楽しんでいる。家族の協力を得ながら自宅訪問や墓参り・編み物の趣味の買い物・馴染みの場所への外出等、日常的に外出の機会が多い。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数千円所持して髪カット代やティッシュなどの日用品の購入を職員に依頼、代金を支払うことのできる利用者の支援はしているが、お金を使える利用者は少ない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族と電話で話す際に本人様にも話をしていただいている。希望があれば、電話をかけて話ができるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや廊下の壁には、みんなで作った季節の壁画や写真などを飾って季節感を出している。廊下の壁には楽しかった行事などの写真を貼っており、廊下を歩く時に写真を見て楽しく語らせるよう工夫している。	共用空間は採光が柔らかく温度・湿度の管理がされ加湿器があり、換気にも配慮している。廊下が広く2ユニット間が自由に行き来できる。壁には作品や写真が飾られている。ソファがありゆっくりとくつろいでいる。壁が木目調で居心地良く過ごせる環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間兼食堂には、椅子・ソファがあり、それぞれお気に入りの場所で気のあった方とくつろげるよう工夫している。各ユニット間を自由に行き来してどちらのユニットでもおしゃべり等ができ、隣ユニットの友達と一緒に話をしたりされる方もいる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具やベッドの位置は入居時に決めていただき、お気に入りの写真などを飾り、その方らしい居室になるよう工夫している。	木目調で温かみを感じさせる居室にはベッドやエアコン・タンス・洗面台が設置してある。家から持ってきたテレビや椅子・テーブル・衣装ケース・家族写真・位牌・人形・暦・時計等、自作の手芸品等も持ち込まれ、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのできること・わかることを把握しており、各場所には札や写真などをかけて場所がわかりやすいように工夫している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない